

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	総合英語 A IV	
科目基礎情報							
科目番号	2018-185			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『Impact Issues 1』 (アルク) , 『Engage』 (いいずな書店) , 担当者が用意するハンドアウト						
担当教員	成田 智子						
到達目標							
1. 自己の研究等に関する英語の記述や論文を7割程度理解できる。 2. 自己の研究成果等を英語で分かりやすくまとめることが出来る。 3. 英語を聞いて内容を理解することが出来る。 4. 英語でコミュニケーションを取ることが出来る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	理系英語に関するテキストを読んで内容をほぼ正確に理解することができる (D2-3)			理系英語に関するテキストを読んで内容を7割程度理解できる (D2-3)		理系英語に関するテキストを読んで7割程度理解することが困難である (D2-3)	
評価項目2	パラグラフの構成に従って論旨の明確なわかりやすい文章が書ける (D2-3)			パラグラフの構成に従って文章を書くことができる (D2-3)		適切な構成で、わかりやすい文章を書くことができない (D2-3)	
評価項目3	英語を聴いて内容をほぼ理解することができる (D)			英語を聴いて内容を7割程度理解することができる (D)		英語を聴いて内容を7割程度理解することが困難である (D)	
学科の到達目標項目との関係							
実践指針 (D2) 実践指針のレベル (D2-3) 【本校学習・教育目標 (本科のみ) 】 4							
教育方法等							
概要	本講座では英語が国際社会における情報・意思伝達の言語媒体となっている現状を踏まえて、高校卒業程度の英語力を土台にして、様々な社会的トピックに関して自分の意見を出し、学生同士で対話し、エッセイとしてまとめる作業を通して、四技能 (reading, listening, speaking, writing) を高めることを目指す。						
授業の進め方・方法	テキストの社会性を持つトピックに関して、教員が作成したハンドアウトに従って英語の四技能を使う活動を行う。文法の基本的知識の習得とTOEIC対策は自学自習で補い、定期試験でその成果を測る。						
注意点	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に科目担当教員へ連絡してください。 3.学科により担当教員が異なる為、授業の進捗と課題に学科間で差が出ることがあります。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Course Guidance			授業の概要を理解し、英語学習の目標と効果的学習方法を理解することが出来る。	
		2週	Impact Issue U1			英文を読み、コミュニケーション活動を通して理解を深め、自分の考えを形作ることが出来る。	
		3週	Essay Writing (100 words)Activity			対話によって他者の考えを知り、トピックに関する自分の考えを豊かにし、エッセイとして書き、互いにフィードバックして自分の文章を書き直すことが出来る。	
		4週	Common Error Sharing, Essay Rewriting			仲間によるありがちな間違いを共有して語法・文法の学び直しをして書く力を付けることが出来る。	
		5週	Scientific Reading			科学的文章を読みコミュニケーション活動を通じて理解することが出来る。	
		6週	Impact Issue U3			英文を読み、コミュニケーション活動を通して理解を深め、自分の考えを形作ることが出来る。	
		7週	Essay Writing (130 words)			対話によって他者の考えを知り、トピックに関する自分の考えを豊かにし、エッセイとして書き、互いにフィードバックして自分の文章を書き直すことが出来る。	
		8週	Common Error Sharing, Essay Rewriting			仲間によるありがちな間違いを共有して語法・文法の学び直しをして書く力を付けることが出来る。	
	2ndQ	9週	TOEIC Quizzes			TOEIC問題を解いて傾向を知ることが出来る	
		10週	Impact Issue U9			英文を読み、コミュニケーション活動を通して理解を深め、自分の考えを形作ることが出来る。	
		11週	Essay Writing (160 words)			対話によって他者の考えを知り、トピックに関する自分の考えを豊かにし、エッセイとして書き、互いにフィードバックして自分の文章を書き直すことが出来る。	
		12週	Common Error Sharing, Essay Rewriting			仲間によるありがちな間違いを共有して語法・文法の学び直しをして書く力を付けることが出来る。	
		13週	TOEIC Quizzes, Reading a passage			TOEIC問題を解いて傾向を知ることが出来る。次回以降のトピックに関連する文章を読み、エッセイ執筆の準備をすることが出来る。	
		14週	Speaking Test①			どれほど自分が英語で対話できるかを知り、学習の見直しをすることが出来る	
		15週	Preparation for TOEIC			TOEICの解答のコツを復習し、受験の準備をすることが出来る	
		16週					

後期	3rdQ	1週	Impact Issue U8	英文を読み、コミュニケーション活動を通して理解を深め、自分の考えを形作ることができる。
		2週	Essay Writing (180 words)	対話によって他者の考えを知り、トピックに関する自分の考えを豊かにし、エッセイとして書き、互いにフィードバックして自分の文章を書き直すことができる。
		3週	Common Error Sharing, Essay Rewriting	仲間によるありがちな間違いを共有して語法・文法の学び直しをして書く力を付けることができる。
		4週	Impact Issue U18, Essay Writing	英文を読み、コミュニケーション活動を通して理解を深め、自分の考えを形作ることができる。
		5週	Essay Writing (200 words)	対話によって他者の考えを知り、トピックに関する自分の考えを豊かにし、エッセイとして書き、互いにフィードバックして自分の文章を書き直すことができる。
		6週	Common Error Sharing, Essay Rewriting	仲間によるありがちな間違いを共有して語法・文法の学び直しをして書く力を付けることができる。
		7週	Speaking Test②	どれほど自分が英語で対話できるかを知り、学習の見直しをすることが出来る
		8週	Impact Issue U12, Essay Writing Scanning & Skimming, Reading Aloud, Submitting 2nd Essay Draft	英文を読み、コミュニケーション活動を通して理解を深め、自分の考えを形作ることができる。
	4thQ	9週	Essay Writing (225 words)	対話によって他者の考えを知り、トピックに関する自分の考えを豊かにし、エッセイとして書き、互いにフィードバックして自分の文章を書き直すことができる。
		10週	Common Error Sharing, Essay Rewriting	仲間によるありがちな間違いを共有して語法・文法の学び直しをして書く力を付けることができる。
		11週	Expressions, Comprehension, Scanning & Skimming, Reading Aloud	どれほど自分が英語で対話できるかを知り、学習の見直しをすることが出来る
		12週	Impact Issue U19, Essay Writing	英文を読み、コミュニケーション活動を通して理解を深め、自分の考えを形作ることができる。
		13週	Essay Writing (250 words)	対話によって他者の考えを知り、トピックに関する自分の考えを豊かにし、エッセイとして書き、互いにフィードバックして自分の文章を書き直すことができる。
		14週	Expressions, Comprehension, Scanning & Skimming, Reading Aloud	Unit 12 に関する演習を通して理解することができる / 音読活動を行うことができる
		15週	Feedback on Examination, Review Activities, Announcements on Learning	1年間の学習を振り返り、自分の成長を知り、今後の学習の指標を立てることができる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	

評価割合

	定期試験	エッセイライティング	TOEIC	Speaking Test		合計
総合評価割合	50	30	5	15	0	100
基礎的能力	50	30	5	15	0	100